

行事報告

鉾山保安研修「残壁」開催結果

管理課・鉾山保安課

平成21年12月8日(火)、高知共済会館(高知市)において、香川大学工学部 吉田秀典 教授 及び 当支部鉾山保安課 寺尾宣孝 鉾務監督官を講師として、鉾山保安研修「残壁」を開催しました。

講義では、吉田教授から「①斜面はどうして崩壊するのか?②山を安定に保つために③研究最前線」と題して、残壁に関する基礎から研究の最前線まで幅広い分野にわたり分かり易くお話頂き、「まとめ」で講義の総括をして頂きました。寺尾鉾務監督官からは「残壁崩壊の現場現状」と題して、鉾山に於ける残壁の規制、技術基準等について、また、残壁崩壊の写真を見ながら崩壊の原因、対策等について分かり易く説明しました。

今回の研修には、14鉾山から23人の参加がありました。研修後のアンケートでは、ほとんどの方が「大体理解できた」「ほぼ満足」と回答し、「本研修で得た知識等を鉾山の残壁の管理に活用して行きたい」等との感想が寄せられました。



研修風景

地盤研究 2009

まとめ

- 「絶対安全」はない
- 地盤／岩盤の状況を把握する
- 避難場所・経路などを把握する
- 日頃から周辺の地盤の状況(変状や出水)を観察しておく
- 降雨が激しくなった際に、普段との違いなどに注意する
- 違いがあれば、関連省庁／自治体／警察／消防に連絡の上、避難の必要性や周知などについて考える

香川大学

吉田教授 講義「まとめ」